

「反復かつ連続」

作・柴幸男

【登場人物】

女 1
女 2
女 3
女 4
女 5
女 6

本作は、ひとり芝居として書かれました。
一人の俳優が全役を順に演じていく想定で、ト書き等が書かれています。

色の付いたセリフは役者が発語する。
色がないセリフは事前に録音された音声が生産される。
または、別の役者が声のみ演じる。

act.1

舞台には誰もいない、何も無い。

役者、やって来る。止まる。

目覚まし時計の音が鳴る。止まる。

それを合図に、役者、女1として動き出す。

女1、こたつへ向う。

舞台は、女1の住む家になる。

女1 おはおはおは。あー次あたし、

以下、女1の朝の身支度の風景が演じられる。
女1が触れる、こたつ、洗面台、蛇口、台所、朝食などは、観客には見えない。
また舞台上には、女1以外の「誰か」がいるらしい。が、それもまた観客には見えない。
女1は、その「誰か」と会話をしながら、身支度をしているらしい。

女1 (こたつに潜り込む) 寒い寒い寒い

女1 えーだめだよー

女1 (頭を踏まれて) やだやだやだ

女1 ごはーん

女1 早く早く

女1 あたしは行くー

女1 (頭をはたかれて) あたしは行くってば、

女1 あーずるいー

女1 (立ち上がり) あ、ずるいずるいあたしも

女1、洗面所へ。

女1 えーばか

「反復かつ連続」

「反復かつ連続」

女1、台所へ。

女1 ポットやだー。(タオルを手に取り) このタオル使っていい?(とられる)

女1 ぶー

女1、洗面所へ。

女1 えー?

女1 (歯ブラシとタオルを手取る) ……ん? んん? んんん? どしたの? (のけぞる) いた! 蹴った! お母さん蹴った!

女1、台所へ。

女1 はい(歯ブラシを渡し、ポットのお湯で蒸しタオルを作るうとする)

女1 あっつい!(ポットのお湯が手にかかったらしい)

女1 なら変わってよ

女1、こたつへ。

女1 お母さん、名札は? ないよーない

女1 (見つけて) あった

女1 えへへー(名札を胸につける)

女1 (手を合わせて) いただきます

女1 (メガネを渡す) はい

女1 あーあたしも卵。卵(卵を割って卵かけごはんに)

女1 (茶碗をとられて) やだー

女1 えーお母さーん。(テレビを見る) あ!ズームイン

「ズームイン朝のテーマ」が流れているらしい。
女1、立ち上がり、口でドラムの声のみを演奏する。

女1 (口でドラムを演奏する)

その音に合わせて、見えないドラムを全力で演奏する。

女1 (演奏し終わる)

玄関のチャイムが鳴る。

女1 (玄関に) あ、ごめん

女1 (ランドセルを拾って背負いながら) 今いくー

女1 行ってきまーす

女1、出て行く。

役者、立ち止まり、演技をやめる。

その瞬間に、ランドセルもなくなる。

役者、最初の立ち位置へすみやかに戻る。

act.2

目覚まし時計が鳴る。止まる。

同時に、シェイカーの音が静かに流れ出す。一定のリズムを保つ。

女1が登場する。姿は見えないが、さきほど発せられた声のみが聞こえる。

女1 おはおはおは。あー次あたし、

役者、女2として、動き出す。女2、こたつへ。

女2 おはよう

女1 (こたつに潜り込む) 寒い寒い寒い寒い

女2 えー知らない。あ、次あたしねー

女1 えーだめだよー

女2 ちょっと邪魔(女1の頭を踏む)

女1 (頭を踏まれて) やだやだやだ

女2 だって邪魔なんだもん(踏むのをやめてこたつに入りながら)

女1 ごはーん

女2 あたしパン。(洗面所に) 早くしてよー

女1 早く早く

女2 じゃあたしもー

女1 あたしは行くー

女2 (女1の頭をはたく)

女1 (頭をはたかれて) あたしは行くってば、

女2 あ、次あたしだよ(立ち上がり)

女1 あーずるいー

女2 あーもーいい。お母さん台所かして

女2、台所へ。

女1 (立ち上がり、洗面所へ) あ、ずるいずるいあたしも
女2 ついてくんな

女1 えーばか(台所へ)

女2 ばーかばーか(蛇口をひねる)

女1 ポットやだー。(タオルを手に取り) このタオル使っている?

女2 (タオルを奪って) それあたしの

女1 (タオルをとられて) ぶー(洗面所へ)

女2 歯ブラシ持ってきて。緑のやつ

女1 えー?

女2 (顔を洗っている)

女1 (歯ブラシとタオルを手に取る) ……ん? んん? んんん? どしたの? (のけぞる) いた!
蹴った! お母さん蹴った!

女2 (顔をふいている)

女1 はい(歯ブラシを渡し、ポットのお湯で蒸しタオルを作ろうとする)

女2 ありがとうー

女1 あっつい!(ポットのお湯が手にかかったらしい)

女2 ばか、やけどすんなよ

女1 なら変わってよ(こたつへ)

女2 やだよ

女2、歯を磨く。

女2 (歯を磨きながら) なになに、誰かくんの?

女1 お母さん、名札は? ないよーない

女2 あ、プリント

女2、こたつ横のカバンへ行き、プリントを取り出す。プリントを持って台所へ。

女1 (見つけて) あった

女2 お母さん

女1 えへへー(名札を胸につける)

女2 (プリントを渡して) このプリントに名前かいて

女1 (手を合わせて) いただきます

女2 (口をゆすいで) いいから早く。いただきます

女2、こたつへ。

女1 (メガネを渡す) はい

女2 (トーストを食べながら) はい、ごめんなさい

女1 あーあたしも卵。卵(卵を割って卵かけごはんに)

女2 ありがとうー。(女1の茶碗をとる) 一口ちょうだい

女1 (茶碗をとられて) やだー

女2 うめ(さらに茶碗をまわす)

女1 えーお母さん。(テレビを見る) あ!ズームイン

「ズームイン朝のテーマ」が流れはじめたらしい。

女2、立ち上がり、口でベースの声を演奏する。

女1のドラムの声と、女2のベースが絡む。

女1 (口でドラムを演奏する)
女2 (口でベースを演奏する)

その音に合わせて、見えないベースを全力で演奏する。

女2 (演奏し終わる)

玄関のチャイムが鳴る。

女2 (玄関に) あーごめーん

女1 (玄関に) あ、ごめーん

女2 なんてあんたが言うの。今いくからー

女1 (ランドセルを拾って背負いながら) 今いくー

女2 (かばんを肩にかけて) うるさい

女1 行ってきまーす

女1、出て行く。

女2 行ってきますっ。(呼び止められる) え、そうそう。夜連。今日から。あ、はい。はいはい。行ってきまーす

女2、出て行く。

役者、立ち止まり、演技をやめる。

その瞬間に、カバンなくなる。

役者、最初の立ち位置へすみやかに戻る。

act.3

目覚まし時計が鳴る。止まる。

同時に、シェイカーの音が静かに流れ出す。先の倍のリズムを保つ。

女1が登場する。姿は見えないが、さきと同様に発せられた声のみが聞こえる。

女1 おはおはおは。あー次あたし

女2が登場する。やはり姿は見えないが、さきほど発せられた声が聞こえる。

女2 おはよう

女1 (こたつに潜り込む) 寒い寒い寒い寒い

女2 えー知らない。あ、次あたしねー

女1 えーだめだよー

女2 ちよっと邪魔(女1の頭を踏む)

女1 (頭を踏まれて) やだやだやだ

「反復かつ連続」

役者、女3として、動き出す。こたつにも台所にも行かず、立っている。

女3 あんたらうるさい

女2 だって邪魔なんだもん（踏むのをやめてこたつに入りながら）

女3 ……おはよ

女1 ごはーん

女2 あたしパン。（洗面所に）早くしてよー

女1 早く早く

女3 あたし、いらぬ。食べたくない。……今日休む

女2 じゃあたしもー

女1 あたしは行くー

女3 うるさい

女2 （女1の頭をはたく）

女1 （頭をはたかれて）あたしは行くってば、

女3 だからいらぬって。……ごはん。

女3、洗面所へ。

女2 あ、次あたしだよ

女1 あーずるいー

女2 あーもーいい。お母さん台所かして（台所へ）

女1 （立ち上がり、洗面所へ）あ、ずるいずるいあたしも

女2 ついてくんな

以下、台所（上段）と洗面所（下段）で同時に会話が進行する。

女2 ついてくんな

女1 えーばか

女2 ばーかばーか

女3 言っていない

女3 言っていない

女1 ポットやだー。このタオル使っていない？

女2 それあたしの

女3 （洗面台の前へ）どいてよ

女3 ……邪魔

女1 ぶー（洗面所へ）

女2 歯ブラシ持ってきて。緑のやつ

女1 えー？

女3 （顔を洗う）

女1 ん？ んん？ んんん？ どしたの？

女3 （女1を蹴る）

女1 いた！ 蹴った！ お母さん蹴った！

女2 （顔をふいている）

女1 はい（歯ブラシを渡し、ポットのお湯で蒸しタオルを作るうとする）

女2 ありがとー

女1 あっつい！（ポットのお湯が手にかかったらしい）

女3 （ちらっと女1を見る）

女2 ばか、やけどすんなよ

女1 なら変わってよ（こたつへ）

「反復かつ連続」

女2 やだよ、(歯を磨きながら) なになに、誰かくんの？
女1 お母さん、名札は？

女3、こたつへ。

女1 ないよーない

女2 あ、プリント

女3 (テレビの上を指差し) あるじゃん

女1 あった

女2 お母さん

女3 違うよ(こたつに座る)

女1 えへへー

女3 いいじゃんちよつとぐらい

女2 このプリントに名前かいて

女3 はいはい、ごめんなさい

女1 いただきます

女3 いただきます

女2 いいから早く。いただきます

女1 (メガネを渡す) はい

女2 はーい、ごめんなさい

女3 (卵を割って、卵かけごはんに)

女1 あーあたしも卵。卵(卵を割って卵かけごはんに)

女2 ありがとう。(女1に) 一口ちようだい

女1 やだー

女2 うめ

女1 えーお母さん。あ！ズームイン

女1 えーお母さん。(テレビを見る) あ！ズームイン

女3 (茶碗をとられる) ちよつと

「ズームイン朝のテーマ」が流れはじめたらしい。

女3、座ったまま、口でピアノの声のみを演奏する。

女1のドラムの声と、女2のベースの声と絡む。

女1 (口でドラムを演奏する)

女2 (口でベースを演奏する)

女3 (口でピアノを演奏する)

その音に合わせて、見えないピアノを全力で演奏したりはしない。

女3 (演奏し終わる)

玄関のチャイムが鳴る。

女2 (玄関に) あーごめーん

女1 (玄関に) あ、ごめーん

女2 なんてあなたが言うの。今いくからー

女1 (ランドセルを拾って背負いながら) 今いくー

女2 (かばんを肩にかけて) うるさい

女1 行ってきまーす

「反復かつ連続」

女1、出て行く。

女3 (食器を渡して) よろしく

女3、立ち上がりカバンを手に取り、玄関の方向へ。

女2 行ってきますっ。え、そうそう。夜連。今日から。あ、はい。はいはい。行ってきますーす

女2、出て行く。

女3、立ち止まり、振り返って、

女3 お母さん。あたし、やっぱりこっちで働くわ。行ってきます

女3、出て行く。

役者、立ち止まり、演技をやめる。

その瞬間に、カバンなくなる。

役者、最初の立ち位置へすみやかに戻る。

act.4

目覚まし時計が鳴る。止まる。

同時に、シエイカーの音が静かに流れ出す。先の、さらに倍のリズムを保つ。

役者、女4として、動き出す。

女4、洗面台へ。

女4 おはよう

女1が登場する。姿は見えないが、さきと同様に発せられた声のみが聞こえる。

女1 おはおはおは

女4 (洗面所で顔を洗う)

女1 あー次あたし

女2が登場する。姿は見えない。さきほど発せられた声が聞こえる。

女2 おはよう

女1 (こたつに潜り込む) 寒い寒い寒い寒い

女4 (女1と2に向かって) ちょっとあたしのリップ使ったのだけー?

女2 えー知らない。あ、次あたしねー

女1 えーだめだよー

女2 ちょっと邪魔(女1の頭を踏む)

女1 (頭を踏まれて) やだやだやだ

「反復かつ連続」

女3、登場する。姿は見えない、声のみが聞こえる。

女3 あんたらうるさい

女2 だって邪魔なんだもん（踏むのをやめてこたつに入りながら）

女3 ……おはよ

女1 ごはーん

女2 あたしパン。

女4（洗面所から）あたしヨーグルトでいー

女2（洗面所に）早くしてよー

女1 早く早く

女4 うるさい

女3 あたし、いらぬ。食べたくない。……今日休む

女4 あたしも会社休むー

女2 じゃあたしもー

女1 あたしは行くー

女3 うるさい

女2（女1の頭をはたく）

女1（頭をはたかれて）あたしは行くってば、

女3 だからいらぬって。……ごはん。（洗面所へ）

女2 あ、次あたしだよ

女1 あーずるいー

以下、台所（上段）と洗面所（下段）で同時に会話が進行する。

女2 あーもーいい。お母さん台所かして

女1 あ、ずるいずるいあたしも

女2 ついてくんな

女1 えーばか

女2 ばーかばーか

女1 ポットやだー。このタオル使っていない？

女2 それあたしの

女1 ぶー（洗面所へ）

女4（女3に）わがまま言ってんじゃねーぞ

女3 言ってる

女4 言ってるじゃん

女3 言ってる

女4 あんま困らせんなよ

女3（洗面台へ）どいてよ

女4（女3に押しつけ横へ）あなたのアレもわかるけどさ

女3 ……邪魔

女4 はいはい

女4、こたつへ。

女2 歯ブラシ持ってきて。緑のやつ

女4（ヨーグルトを取り）いただきまーす

女4（洗面所を気にする）

女2（顔をふいている）

女1 はい（女2に歯ブラシを渡し、ポットで蒸しタオルを作る）

女2 ありがとうー

女1 えー？

女3（泣きながら顔を洗う）

女1 ん？ んん？ んんん？ どしたの？

女3（女1を蹴る）

女1 いた！ 蹴った！ お母さん蹴った！（台所へ）

「反復かつ連続」

女4、ヨーグルトを食べながら、

「反復かつ連続」

女4 いーの
女4 いらぬいの
女4 七時
女1 あつい
女2 ばか、やけどすんなよ
女1 なら変わってよ
女2 やだよ

女4 あーもーいいってなんにもしなくて
女4 だからちゃんと紹介するってば
女4 はいは会社の人会社の人
女2 なになにに、誰かくんの？
女4 関係ない
女1 お母さん、名札は？ ないよーない
女3 (居間へ)
女2 あ、プリント

女1 あった
女2 お母さん
女1 えへへー
女2 このプリントに名前かいて
女1 いただきます
女3 いただきます
女2 いいから早く。いただきます
女1 (メガネを渡す) はい
女2 はい、ごめんなさい
女3 (卵を割って、卵かけごはんに)
女1 あーあたしも卵。卵(卵を割って卵かけごはんに)
女2 ありがとー。(女1に) 一口ちようだい
女1 やだー
女2 うめ
女1 えーお母さん。あ！ズームイン
女4 (女3に) あ、ちよつと
女3 あるじゃん
女4 それあたしのリップでしょ
女3 違うよ
女4 勝手に使わないでよ
女3 いいじゃんちよつとぐらい
女4 自分で買え
女3 はいはい、ごめんなさい

女1 えーお母さん。あ！ズームイン
女2 うめ
女1 やだー
女2 うめ
女1 えーお母さん。あ！ズームイン
女3 ちよつと
女4 (女3に) あたしも一口(女3の茶碗をとる)

「ズームイン朝のテーマ」が流れはじめたらしい。
女4、立ち上がり、口でギターの声のみを演奏する。
女1のドラムの声と、女2のベースの声と、女3のピアノの声と絡む。

女1 (口でドラムを演奏する)
女2 (口でベースを演奏する)
女3 (口でピアノを演奏する)
女4 (口でギターを演奏する)

女4、自分の音に合わせて見えないギターを全力で演奏する。

女4 (演奏し終わる)

玄関のチャイムが鳴る。

女4 お母さん、うるさい
女2 あーごめーん
女1 あ、ごめーん
女2 なんだあんたが言うの。今いくからー
女1 今いくー
女2 うるさい
女4 (食器をかさねながら) ちょっと食器
女1 行ってきまーす

女1、出て行く。

女4 かたづけろ

女3 (食器を渡して) よろしく

女4 おい

女2 行ってきますっ

女4、台所へ。

女4 あんたら洗ってけ(流して食器を洗っ)

女2 え、そうそう。夜連。今日から。あ、はい。はいはい。行ってきまーす

女2、出て行く。

女3 お母さん。あたし、やっぱこっちで働くわ。行ってきます

女3、出て行く。

女4 なに？ (お弁当をつかみ) これ？

女4、慌てて、玄関の方へ。

えー、(出て行った女3に向かって) おーい ちょっと！ (振り返り) 行ってきます

女4、出て行く。

役者、立ち止まり、演技をやめる。

役者、最初の立ち位置へすみやかに戻る。

act.5

目覚まし時計が鳴る。止まる。

同時に、シェイカーの音が静かに流れ出す。先の、さらに倍のリズムを保つ。

それに合わせてカノンの最も低音パートの弦楽器の音色が流れだす。
カノンとシェイカーのテンポはあっている。

「反復かつ連続」

役者、女5として動き出す。台所へ。
振り返って、これからやってくる女1から女4たちに声をかける。

女5 おはようございまーす。みんな早くしなさい

女5、台所で朝食の準備をはじめ。

これから女5は基本、あわただしく朝の家事をし続けながら会話する。

女4、登場する。姿は見えないが、さきと同様に発せられた声のみが聞こえる。

女4 おはよう

女5 (女4に) おはよう

女1、登場する。姿は見えない。さきほど発せられた声が聞こえる。

女1 おはおはおは

女5 (女1に) ちゃんと言いなさい

女4 (洗面所へ)

女1 あー次あたし

女2、登場する。姿は見えない。声のみが聞こえる。

女2 おはよう

女5 (女2に) おはよう

女1 (こたつに潜り込む) 寒い寒い寒い

女4 ちよつとあたしのリップ使ったのだけー？

女2 えー知らない。あ、次あたしねー

女1 えーだめだよー

女2 ちよつと邪魔

女1 やだやだやだ

女5 (女1に) こたつで寝ないの

女3、登場。姿は見えず、声のみが聞こえる。

女3 あんたらうるさい

女2 だって邪魔なんだもん

女5 (女3に) おはよう

女3 ……おはよ

女5 みんな朝ご飯どっち？

女1 ごはん

女2 あたしパン

女4 (洗面所から) あたしヨーグルトでー

女5 ヨーグルト？

女2 早くしてよー

女1 早く早く

女4 うるさい

女5 (女3に) なに？ くちやくちや。制服のまんまで寝たの？

女3 あたし、いらぬ

「反復かつ連続」

女5 いらぬい？
女3 食べたくぬい
女5 どうして
女3 今日休む

女5 えー
女4 あたしも会社休むー
女2 じゃあたしもー
女1 あたしは行くー
女3 うるさい

女5 あんた達、バカ言わぬいの
女1 あたしは行くってば

女5 (女3に) パン？ ごはん？
女3 だからいらぬいって

女5 (女3に) だーめ。ちゃんと食べぬさい。どっち？
女3 ……ごはん。(洗面所へ)

女2 あ、次あたしだよ。
女1 あーずるいー
女3 うるさい

女5 (女3に) 学校も行くでしょ？

以下、台所(上段)と洗面所(下段)で同時に会話が進行する。

女2 あーもーいい。お母さん台所かして

女1 あ、ずるいずるいあたしも

女2 ついてくんぬ

女1 えーばか

女2 ばーかばーか

女5 ほらポットつかいぬさい。ポット

女1 ポットやだー。このタオル使っていい？

女2 それあたしの

女5 タオルとっけぬさい

女1 ぶー(洗面所へ)

女2 歯ブラシ持っけきて。緑のやつ

女4 わがまま言っけんじゃぬーぞ

女3 言っけぬい

女4 言っけんじゃぬ

女3 言っけぬい

女4 あんま困らせぬなよ

女3 どいてよ

女4 あんたのアレもわかるけどさ

女3 邪魔

女4 はいはい(居間へ)

女1 えー？

女5、お盆を持っけ、こたつへ

女4 (ヨーグルトを取り) いただきまーす

女3 (泣きながら顔を洗う)

女1 ん？ んん？ んんん？ どしたの？

女3 (女1を蹴る)

女1 いた！ 蹴った！ お母さん蹴った！

女5 なにやっけんの？

女1 はい(女2に歯ブラシを渡し、ポットで蒸しタオルを作る)

女2 ありがとー

女5 (女4に) そんなんじゃお腹いっばいにならぬでしょう

女4 いーの

女5 ごはんつけようか？

女1 あついい

女4 いらぬいの

女2 ばか、やけどすんなよ

「反復かつ連続」

女5 (女1に) 大丈夫? 今日、何時だっけ?
女4 七時
女5 食べられないものとかあるの?
女4 あーもーいいってなんにもしなくて
女5 なんでよ。ねえねえどんな人なの
女4 だからちゃんと紹介するってば
女5 そんなちゃんと言ってよ
女4 はいはい会社の人会社の人
女5 もう

女5、台所へ。

女2 なになにに、誰かくんの?
女4 関係ない
女1 お母さん、名札は?
女5 テレビの上にあるでしょ?
女1 ないよーない
女2 あ、プリント
女5 (女2に) どたどたしないの、
女4 あ、ちょっと
女3 (居間へ)

女5 (女1に) ないの?
女1 あった
女2 お母さん
女5 あるんじゃない
女1 えへへー
女2 このプリントに名前かいて
女1 いただきます
女5 (プリントを受け取り) えー
女3 いただきます
女5 なんのプリント?
女2 いいから早く
女5 ちよっと誰かメガネとって
女2 いただきます
女1 (メガネを渡す) はい
女5 (メガネを受け取り) こーゆーのは前もってだしなさい
女3 あるじゃん
女4 それあたしのリップでしょ
女3 違うよ
女4 勝手に使わないでよ
女3 いいじゃんちよっとぐらい
女4 自分で買え
女3 はいはい、ごめんなさい

女5、台所でプリントにサインをする。

女2 はい、ごめんなさい
女3 (卵を割って、卵かけごはんに)
女1 あーあたしも卵。卵(卵を割って卵かけごはんに)
女5 (女2にプリントを渡す) はい
女2 ありがとー。(女1に) 一口ちよっдай
女1 やだー
女2 うめ
女5 あたしもちよっдай(茶碗を受け取る)
女1 えーお母さん。あ!ズームイン
女4 (女3に) あたしも一口
女3 ちよっと

「反復かつ連続」

「ズームイン朝のテーマ」が流れはじめたらしい。
女5、姿勢をただし、口でメインパートを歌う。
女1のドラムの声と、女2のベースの声と、女3のピアノの声と、女4のギターの声と絡む。

女1 (口でドラムを演奏する)
女2 (口でベースを演奏する)
女3 (口でピアノを演奏する)
女4 (口でギターを演奏する)
女5 (口でメインパートを歌う)

女5、全員の声とひとつになって、熱唱。

女5 (歌い終わる)

女5、指揮者のように、全体の声を止める。

玄関のチャイムが鳴る。

女5 はいー
女4 お母さん、うるさい

女5、台所へ、お弁当をつつみはじめる。

女2 あーごめーん
女1 あ、ごめーん
女2 なんてあんたが言うの。今いくからー
女1 今いくー
女2 うるさい
女4 ちよつと食器
女1 行ってきまーす

女1、出て行く。

女5 (女1に) はい、いってらっしゃい
女4 かたづけろ
女3 よろしく
女2 行ってきますっ
女4 おい

女5、台所から、玄関のほうへ。

女4 あんたら洗ってけ

女5 (女2に) ちよつと、夜連?
女2 え、そうそう。夜連。今日から。
女5 気をつけてね
女2 あ、はい。
女5 一人で帰っちゃだめよ
女2 はいはい。行ってきまーす

女2、出て行く。

女5 (女2に) いってらっしゃい

女3 お母さん

女5 え？

女3 あたし、やっぱこっちで働くわ

女5 ええ？ ちよつと

女3 行ってきます

女3、出て行く。

女5 ちよつと！ ちよつとお弁当！

女4 なに？ これ？

女5 それそれ！ 渡してあげて！

女4 えー、おい

女5 お弁当持ってきたさい！

女4 ちよつと！ 行ってきます

女5 はい、いってらっしゃい

女4、出て行く。

女5 ……

女5、出て行く。

役者、演技をやめることなく、そのまま退場。

舞台には誰もいなくなる。

シェイカーとカノンが続く。

act.6

目覚まし時計が鳴る。止まる。
しかし、誰も出てこない。

シェイカーとカノンは、続く。

カノンの別パートが順に入ってくる。

女5、女1、女2、女3、女4、順に出ってくる。

誰もいな舞台上で朝の風景が声のみで行われる。

かつて演じられた彼女たちが、彼女たちの居間が、まるでそこにあるように。

カノンは徐々にパートが増え、全5パートが揃ってカノンは完成する。

「反復かつ連続」

彼女たちのやりとりが続く中、役者やってくる。

それは役者ではなく、誰かを演じていることがわかる。

彼女Ⅱ女6は、お盆を持ってやってくる。

女6には、他の女たちが見えているのか、わからない。

お盆の上には、急須と湯のみ。

女6、そのまま舞台を進み、舞台と客席の間に腰掛ける。

急須から、湯のみに、お茶を注ぎ、ゆっくりと飲む。

後ろでどんな声かしようとも振り返ることはない。

お茶を飲んでいる女6の動きが徐々に静かに、ゆっくりになる。

女6の頭はゆっくり下がり、いつのまにか彼女は眠りに落ちる。

* * *

女4 なに？ これ？

女5 それそれ渡してあげて

女4 えー、おーい

女5 お弁当持ってきたさい

女4 ちょっと！ 行ってきます

女5 はい、いってらっしゃい

女4、出て行く。

女5 ……

女5、出て行く。

誰の声もしなくなった、舞台。

今まで演じられたことのない、女5の声が聞こえる。

その声は女6にかけられているようだ。

女5 お母さーん？ ご飯ご用意できましたよー

女6 ……

女5 お母さん？ そんなとこでうたた寝していると風邪ひきますよー

女6 (頭をさげたままつぶやくように) 行ってきまーす

女5 行ってきますって……どちらにですかー？

女6 ……

女5 お母さん？

女6 は動かない。

ゆっくとカノンが鳴り止む。

無音。

役者、演じるのをやめて、立ち上がる。

役者、客席に一礼。

お盆を持って、退場する。

なにもない舞台。

「反復かつ連続」おわり。

本作品の著作権は、作者である柴幸男に帰属します。
上演許可などのお問い合わせは、作者の所属する劇団「ままごと」まで。
上演をする際は有料無料に関わらず、必ずご連絡ください。

ままごと HP www.mamagoto.org
MAIL mamagoto.org@gmail.com